

学校教育 School Education

分かる授業の創造
Making Lessons Easy to Learn

Social Education

共に生きる教育
Coexistence Education

社会教育



元気な小学生(名瀬小学校)

Amami City seeks to impart life skills to students in understandable classes. Efforts to prevent bullying and keep student attendance rates high, as well as a fully-developed health and dietary education program enable "Amami Kids" to fly toward their dreams with a sense of pride in their Amami roots.



「第30回国民文化祭かごしま2015」において、奄美市主催事業のオープニングを飾った奄美六調太鼓

The City is actively promoting its motto of "Coexistence Education" designed to achieve community building by teaching children within the locality via education that teaches how to learn and about their local culture. We work to develop both the mental and physical aspects of citizen health by fully utilizing community sports facilities and promoting sports for all citizens.



泥染め体験など、郷土教育も盛ん。(朝日小学校)



育てた稲で綱をつくり、地域行事「十五夜綱かつぎ」を行う。(小湊小学校)



立志式(東城中学校)

21世紀を担う子どもたちに求められているのは、「確かな学力」「豊かな人間性」「健康・体力」など知・徳・体のバランスのとれた「生きる力」です。

これらを育むために、奄美市では、35人学級実現のための市独自の講師配置事業の推進や特別支援教育支援員配置事業の拡充、教職員が「学力向上に向けた授業改善5つの方策」に基づいた授業力の向上に努め「分かる授業」の創造を図っています。

また、「あまみっ子」すこやかプログラムを通して人間関係づくりを促すとともに、スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーなどの配置や適応指導教室の活用などで、いじめや不登校の問題にも対応しています。さらに、教科体育や一校一運動の充実、健康教育の推進、食育の充実にも努めています。

そのほか、歌声の響く学校・歌声の響く地域、鳥口、鳥唄の伝承、花づく

り・花いっぱい運動など感性を育む教育を推進しています。さらに、奄美市の恵まれた自然や教育的風土を生かし、生まれ育った奄美を誇りにし、自分の夢や希望に向かって力強く羽ばたいていく「あまみっ子」の育成を図っています。そのために、地域に開かれ、地域に根ざしたふるさと教育を推進し、長野県小川村や群馬県みなかみ町との交流、ナカドウチェス市(姉妹都市)との交流なども継続・発展させています。



教育の国際化のため、毎年、奄美市内の中学生と、米国テキサス州にあるナカドウチェス市との交流が行われている。

奄美市教育委員会では、本市の将来像である「自然・ひと・文化が共につくるきよらの郷」を受けた基本目標「地域の中で教え、学ぶ教育・文化のまちづくり」の実現に向けた「共に生きる教育」を積極的に推進しています。

社会情勢の急激な変化にも対応できるよう、生涯学習の観点に立つ学校教育・家庭教育・社会教育を推進するとともに、市民のニーズに応じた生涯学習の基盤づくりに努めます。

また、社会体育施設の充実強化並びに市民スポーツの振興を通して、心身ともに健康な市民の育成に努めます。



奄美市民体育祭



各地域の様々な宝(文化財)を掘り起こし、「奄美遺産」とする活動が行われている。



三太郎峠歩こう会



毎年開催される「奄美☆ワールド川柳」には、多くの応募がある。



市美展